

2026年度

関西医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程(修士)

学生募集要項 [夏期日程]

関西医科大学大学院 看護学研究科

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

Tel: (072) 804-0205, 0207 (看護学部事務局直通)

E-mail: nursing@hirakata.kmu.ac.jp (看護学部事務局代表)

看護学研究科博士前期課程学生募集要項

1. 募集人員

研究科名	専攻名	課程	募集人員
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程(2年)	20名

2. 出願資格

本学看護学研究科(以下、本研究科 という)の博士前期課程に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者とする。

○「研究者コース」を志望する入学志願者について

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び2026年3月に卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号) ……**出願資格審査必要**
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したと本研究科が認めた者 ……**出願資格審査必要**
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者 ……**出願資格審査必要**

○「高度実践看護師コース」を志望する入学志願者について

上記の出願資格(1)～(9)のいずれかに該当する者で、入学の時点で看護臨地経験を原則として3年以上有する者

○「臨床看護教育者コース」を志望する入学志願者について

上記の出願資格(1)～(9)のいずれかに該当する者で、入学時点で保健師、助産師、看護師免許のいずれかに基づく臨地経験(教育歴を含む)を原則として3年以上有する者

注) 全てのコースともに(7)～(9)の出願資格審査対象者の基準は次の通りとし、出願前に個別の出願資格審査を受けること。

研究論文1編以上(本人が筆頭者で査読がある学会発表(地方会可))を有し、さらに(ア)か(イ)のうち、いずれかの項目を満たしている者を受験資格ありとする。

(ア) 看護教員、看護管理者、認定看護師の研修など、いずれかの研修を6か月以上受講している者

(イ) 大学院研究生、リーダー経験、実習指導者経験など、いずれかについて1年以上の経験を有する者

※出願資格審査(該当者のみ)

(1) 申請方法

封筒に「看護学研究科出願資格審査書類(博士前期課程)在中」と朱書きし、申請書類を「簡易書留郵便またはレターパックプラス」で郵送して下さい(郵送のみ受付)。 注)レターパックライトは不可。

事前に志望する専門領域の指導教員(10ページ参照)と相談して下さい。

(2) 申請期間

2025年7月2日(水)～2025年7月4日(金)【必着】

(3) 申請書類送付先

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

関西医科大学看護学部事務部

(4) 申請書類

- ① 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙をホームページよりダウンロードし作成すること)
- ② 最終学歴に関する証明書(卒業証明書、卒業見込み証明書、学位授与証明書のいずれか)
- ③ 研究論文の掲載された該当ページの写し1編(本人が筆頭者である学会発表を含む)、抄録集や雑誌名が分かること
- ④ 資格審査項目(ア)の内容を証明する修了証、または(イ)の内容を証明する施設長からの証明書(書式自由)
- ⑤ 返信用封筒(定型封筒長形3号)〔宛名を明記、切手(含速達料金)を貼付すること〕

(5) 出願資格審査結果通知

出願資格審査の結果は、2025年7月11日(金)を目途として郵送にて発送予定です。結果通知後、出願を許可された者は、提出書類を出願締切日までに郵送下さい。

3. 願書受理期間及び提出書類

(1) 出願期間

2025年7月25日(金)～2025年8月8日(金)【必着】

注)出願期間後に到着した願書は受理しません。

(2) 出願方法

- ① 出願にあたっては、事前に志望する専門領域の指導教員(10ページ参照)と相談して下さい。
- ② 出願書類は一括して封筒に入れ、封筒の表に「大学院(博士前期)出願書類在中」と朱書きし、「簡易書留郵便またはレターパックプラス」で郵送して下さい(郵送のみ受付)。 注)レターパックライトは不可。

(3) 入学検定料

35,000円

入学検定料を出願期間内に必ず受験者本人名義で振込下さい(手数料本人負担)

金融機関: りそな銀行(0010)

支店名: 守口支店(211)

預金種別: 普通預金

口座番号: 4667068

口座名義: 学校法人関西医科大学 理事長 山下敏夫

(カナ): ガク カンサイイカダイガク リジチヨウ ヤマシタトシオ

(4) 出願書類送付先

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

関西医科大学看護学部事務部

(5) 出願上の注意事項

- ① 受理した出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 入学検定料は、払い戻ししません。
- ③ 疾病・負傷や身体障害のために受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願期間開始までに申し出て下さい。
- ④ 出願に伴う個人情報を選考目的以外には利用しません。なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、就学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うために利用します。

(6) 出願書類(所定様式については、ホームページよりダウンロードのうえ、作成して下さい)

出願書類	作成方法	確認
入学志願票(表) 履歴書(裏)	本研究科所定の様式 入学志願票と履歴書は両面印刷して下さい。	☐
志望理由書	本研究科所定の様式 400字以内	☐
研究業績調書	本研究科所定の様式 研究業績がない場合、「なし」と記載して下さい。	☐
受験票	本研究科所定の様式に出願3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向き 縦5cm 横4cmの写真を貼付(写真の裏面には氏名を記入しておくこと)	☐
受験票返信用封筒	定型封筒長形3号(ヨコ12cm×タテ23.5cm)に、返信先の住所・氏名を明記し、 切手(含簡易書留料金)を貼付したもの。	☐
入学検定料振込書	入学検定料の振込証明書(またはATMによる振込票)を入学志願票裏面(履歴書 下部)に貼付して下さい。インターネットバンキングを利用した場合には、振込完了 の画面を印刷のうえ貼付して下さい。	☐
卒業(見込)証明書(原本)	・出身大学の学長または学部長が証明したもの、または外国の学校教育機関の 長が証明したもの ・大学以外の教育機関で看護教育(看護師、保健師、助産師)を受けた者は、当 該校の卒業(見込)証明書 ・大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学士の学位授与証 明書、授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書 ・他の大学院を修了(見込)の場合には、学部または大学以外の教育機関卒業分 も併せて提出して下さい。	☐
成績証明書(原本)	・出身大学の学長または学部長が証明したもの、または外国の学校教育機関の 長が証明したもの ・大学以外の教育機関で看護教育(看護師、保健師、助産師)を受けた者は、 当該校の成績証明書 ・他の大学院を修了(見込)の場合には、学部または大学以外の教育機関卒業分 も併せて提出して下さい。	☐
免許証等の写し	看護師、保健師、助産師の免許証の写し(免許を取得予定の者は、国家試験 合格後速やかに合格通知の写しを提出すること) (A4 サイズに縮小すること) 関西医科大学附属医療機関に勤務する者は、在職証明書	☐
その他	証明書等が現在の姓名と異なる場合、異動内容が確認できる戸籍抄本を必ず 同封して下さい。	☐

【注意】外国の大学・大学院の証明書(卒業証明書、学位証明書、成績証明書等)は、その学校が作成した英文証明書または和文証明書を提出すること。

4. 試験日程・試験場所

入学試験は、外国語(英語)試験、専門科目(看護専門)試験、面接試験の結果及び提出書類内容を総合的に判断して実施します。

(1) 試験科目

- ① 外国語(英語) ※辞書持込可(電子辞書不可)
- ② 看護専門(下記領域より志望する1科目を選択すること)
基礎看護学 国際看護学 看護学教育 地域看護学 精神看護学 在宅看護学
こども看護学 母性看護学 老年看護学 慢性疾患看護学 がん看護学 クリティカルケア看護学
- ③ 面接

(2) 試験日程

年月日	時 間	科目名	配点	場 所
2025年 8月24日(日)	9:30～11:00	外国語(英語)	100点	関西医科大学 枚方キャンパス 看護学部棟
	11:30～13:00	看護専門	100点	
	14:00～	面接	—	

(3) 注意事項

- ① 試験当日は受験票を必ず持参し、9時10分までに着席して下さい。
- ② 天候・公共交通機関の状況により、試験開始時刻を遅らせることがあります。
- ③ 試験開始後30分を超えて遅刻した場合は、受験を認めません。また試験時間中の退出はできません。
- ④ 電卓、電子辞書、計算機能及び辞書機能を備えた時計の持ち込みは禁止します。
- ⑤ 試験に際しては携帯電話等の電源は必ず切って、カバン等に入れて下さい。
- ⑥ 昼食は各自で持参して下さい。
- ⑦ 試験会場では駐車場が利用できませんので、公共交通機関を利用して下さい。
- ⑧ 大学敷地内はすべて禁煙です。

5. 合格発表

2025年8月29日(金)正午に本学ホームページに掲載します。また、合格者には、発表当日に合格通知書及び入学手続書類を発送します。電話による可否の問い合わせには一切応じません。

6. 入学手続・学費等

(1) 入学手続期間

2025年8月29日(金)(合格発表当日)～2025年9月9日(火)【必着】

(2) 入学手続書類

- ① 誓約書
- ② 住民票記載事項証明書(外国籍の方も同様)

(3) 入学金・学費

	学 費	
	前 期(入学手続時)	後 期(10月末日)
入 学 金 (初年度のみ)	200,000円	—
授 業 料	250,000円	250,000円
教 育 充 実 費	50,000円	50,000円
合 計	500,000円	300,000円

注1) 実習関連経費は自己負担となります。

注2) 関西医科大学看護学部卒業生(卒業見込み者を含む)、関西医科大学附属看護専門学校卒業生、関

西医科大学附属医療機関に勤務する者は入学金を減免(半額)します。

注3) 本学の貸与型奨学金制度、および学外の奨学金制度(日本学生支援機構等)があります。

(4) 入学辞退による納入金の返還

入学手続きを完了した者で、2026年3月24日(火)17時までに次へ連絡のうえ、本学所定の「入学辞退届」に入学辞退を申し出た者に対しては、既納入金のうちから「入学金」を除く納入金を返還します。

申し出先: 関西医科大学看護学部事務部 電話(072)-804-0205,0207(直通)

(5) 長期履修制度

長期履修制度に申請することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者です。

① 職業を有する者

② 育児、介護等の事情により、標準修業年限内で修了することが困難な者

③ 特別の事情により、標準年限内で修了することが困難であると看護学研究科長が認めた者

※ 当該制度の利用を希望する者は、原則として**入学願書提出時に申請**しなければなりません。申請に必要な書類等は次のとおりです。

	必 要 書 類
① 職業を有する者	在職証明書(学外勤務者のみ) ただし、在職証明書が発行できない場合は、職業を有することが確認できる書類
② 育児、介護等の事情により、標準修業年限内で修了することが困難な者	【育児による場合】 出産予定、又は出産したことを証明する書類 【介護による場合】 介護を必要とする内容の医師等の診断書又は証明書、及び介護を必要とする者との続柄を証明する書類
③ 特別の事情により、標準修業年限内で修了することが困難であると看護学研究科長が認めた者	当該事由を明らかにすることができる公的機関、病院等の証明書

※ 申請が許可された者の長期履修適応年数は、**博士前期課程3年**とします。ただし、4年を超えて在学することはできません。

※ 長期履修制度を適用した場合の入学金・学費については、看護学研究科教育要項の「**関西医科大学大学院看護学研究科長期履修制度に関する規程**」をご確認ください。

7. 交通アクセス

受験会場: 関西医科大学 枚方キャンパス 看護学部棟

京阪本線枚方市駅下車 徒歩5分

(お車での入構はできませんので、公共交通機関をご利用ください。)

※附属病院と有料駐車場の間の道を直進してください。左側に看護学部棟があります。



8. 出願に関する問い合わせ先

関西医科大学看護学部事務部学務課

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

Tel : 072-804-0205, 0207 (看護学部事務部直通)

E-mail : nursing@hirakata.kmu.ac.jp (看護学部事務部代表)

※領域等についての問い合わせは、メール(nursing@hirakata.kmu.ac.jp)にて受け付けます。

件名には【課程(博士前期)志望する領域(基礎看護学・看護学教育など)】を記載して下さい。

事務取扱時間

平日 9時～17時

土曜日 9時～12時50分(第1、3、5土曜日)

※第2、4土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は閉室

看護学研究科博士前期課程の概要

1. アドミッション・ポリシー

- ① 高い倫理観を基盤に、自らの看護の力について語れる人
- ② 看護実践で生じる様々な現象や課題を見極め、看護の質向上に寄与したい人
- ③ 看護あるいは保健・医療・福祉・教育における新たな問題を自主的に解決したい人
- ④ 実践に根ざした研究課題に取り組むために必要な研究方法を学びたい人

2. カリキュラムの編成

博士前期課程では、※7領域(在宅看護学、精神看護学、こども看護学、老年看護学、慢性疾患看護学、がん看護学、クリティカルケア看護学)で高度実践看護師コースを開講している。臨床看護教育者コースは、看護職の能力開発のため個別または集団への教育や支援を目指した西日本で初めての開設となる。疫学的・量的・質的研究方法を学習し、文献検索・検討や学術論文執筆に関する優れた研究能力の醸成に重点を置いた研究者コースの3つのコースを備えている。

分野	領域	高度実践看護師 コース	臨床看護教育者 コース	研究者 コース
基盤看護分野	基礎看護学			○
	看護学教育		○	○
	国際看護学			○
広域看護分野	地域看護学			○
	在宅看護学	○		○
	精神看護学	○		○
生涯発達看護分野	こども看護学	○		○
	母性看護学			○
	老年看護学	○		○
治療看護分野	慢性疾患看護学	○		○
	がん看護学	○		○
	クリティカルケア看護学	○		○

* 高度実践看護師コースについては日本看護系大学協議会において高度実践看護師教育課程として認定

3. カリキュラム・ポリシー

医科大学の中の看護学研究科として、附属医療機関をはじめ、総合クリニックや訪問看護ステーションなど、様々な医療提供ができる施設を併せ持つ本学の特徴を最大限に活かした科目で構成する。

<共通>

- ① 実践を支えるための基本的な理論を学ぶ授業を配置する。
- ② 環境と健康との関連を、地域、国内、国際的視野で捉え、看護がなすべき方向や課題を考え、変革する力を養うための科目を博士後期課程と合同で配置する。
- ③ 看護実践、教育と研究を有機的に連動させ、科学的根拠に基づいた看護実践へと変革するための研究法の授業を配置する。
- ④ 看護の専門的知識を実践に根差して捉えるため、専門領域には講義・演習・実習を配置する。

＜高度実践看護師コース＞

- ① 人々の多様な状況・背景を理解し、高度看護実践力を獲得するために、実習環境を整える。
- ② 学生が自ら実践力を客観的に判断し高度看護実践へと導くため、シミュレーション教育を積極的に導入する。

＜臨床看護教育者コース＞

看護基礎教育、新人教育、継続教育等の看護教育を受ける者の発達段階やレディネスに応じた教育が展開できるよう、環境を整える。

＜研究者コース＞

一連の研究プロセスを重点的に学び、研究を遂行するために、研究課題を焦点化する目的で演習（フィールドワーク等）を配置する。

4. ディプロマ・ポリシー

＜共通＞

- ① 保健・医療・福祉・教育に関する情報を多面的に収集し、科学的・論理的に考察し、多職種と協働できる。
- ② 看護実践および教育と関連した研究課題について探究できる。
- ③ 人々の生活の質（Quality of life: QOL）のため、看護実践の変革に寄与できる。

＜高度実践看護師コース＞

- ① 医療の専門家であるという自覚と高い倫理観に基づいた高度看護実践を提供できる。
- ② 地域で暮らす人々の歴史や環境を理解し、生活に根差した健康の維持・推進のため系統的な高度看護実践を提供できる。
- ③ 高度先進医療を受ける人々、さらに受けた人々の多様な状況・社会背景を理解し、中・長期的な視野での高度看護実践を提供できる。

＜臨床看護教育者コース＞

- ① 看護職の看護実践能力育成のため、エビデンスに基づく体系的な教育プログラムを開発できる。
- ② 看護職の能力開発のため、個別または集団への教育や支援ができる。

＜研究者コース＞

実践に根差した研究課題に必要な研究方法を用いて研究に取り組み、基礎的な研究力を修得できる。

5. 指導教員の研究概要

分野	領域	指導教員	概 要
基盤看護分野	基礎看護学	山本 加奈子	被災地域におけるフィールド調査を含めた災害看護に関する研究、基礎看護技術のエビデンスに関する研究、シミュレーション教育を含めた基礎看護技術の教育方法に関する研究、アロマセラピーなどの補完代替療法の効果や導入に関する研究指導を行う。
		鮫島 輝美	看護実践を現象として切り取るために必要な理論枠組みを共に学ぶ。理論枠組みは、自然科学・人間科学(社会構成主義)的アプローチを含む。その上でResearch Questionを検討し、理論と実践の対話を通じて研究的探索を行っていく。
	国際看護学	近藤 麻理	国際看護学領域でのグローバルな健康課題を文献や資料から検討し、現地におけるフィールド調査を中心とした研究計画書を作成する。国際的な研究において配慮すべき点などを十分に理解したうえで、調査を行い修士論文にまとめる。
	看護学教育	吉田 和美	看護基礎教育の教授活動に関する研究、現任教育としての新人看護師育成やリーダーシップ・フォロワーシップ育成に関する研究、臨床現場で看護教育を実践する臨床・ナース・エデュケーター(CNE)に関する研究指導を行う。
広域看護分野	精神看護学	三木 明子	精神疾患や精神障害の問題を抱えた対象者に対する精神症状の評価と看護介入、看護職へのストレスマネジメントとメンタルヘルス支援、暴力・ハラスメント被害者への支援に関する研究指導を行う。
	在宅看護学	李 錦純	在宅ケア分野における経営管理と人材育成、多文化社会における高齢者ケア、医療機関看護職における入退院支援、中山間地域における訪問看護などに関する研究指導を行う。
	地域看護学	大川 聡子	若年母親等、妊娠・出産・子育てにおいて特有の支援が必要な対象者へのかかわり方、子育てにおける逆境的小児期体験(ACEs)の影響、逆境的小児期体験を緩和するコミュニティづくり、家庭訪問等保健師の支援技術に関する研究指導を行う。
生涯発達看護分野	こども看護学	加藤 令子	こども自身の主体的な医療参加に関する研究、障がいのあるこどもや医療を必要とするこども自身の自然災害への備えに関する研究、こども看護における高度看護実践看護師の役割・機能に関する研究について指導を行う。
	母性看護学	酒井 ひろ子	女性の健康課題に対する支援、周産期にある女性とその家族を対象に、健康の保持増進、親として家族発達を促進する支援、開発途上国の地域住民を対象とした保険医療活動や支援についての研究指導を行う。
	老年看護学	伊東 美緒	認知症症状を軽減させるための概念構築やコミュニケーションケア技法、AR(拡張現実)を用いた認知症の人のコミュニケーション学習教材、認知症の人のための環境調整、介護施設における看護師の役割等に関する研究について指導を行う。
治療看護分野	慢性疾患看護学	瀬戸 奈津子	糖尿病、慢性心不全、慢性呼吸器疾患、炎症性腸疾患等とともに生きる成人・高齢者の慢性疾患看護、および外来看護をテーマにした研究指導を行う。
	がん看護学	白井 由紀	がんを有する患者・家族のQOLの維持・向上を目指したケア、特に、がん患者-医療者間のコミュニケーション向上のための取り組みについて、がん看護、緩和ケア、サイコオンコロジーの視点から研究指導を行う。
	リハビリテーション看護学	宇都宮 明美	救急・集中治療および循環器周術期領域における急性・重症患者、家族、看護師を対象とした重症化予防と早期回復、倫理的課題、end of life careに関する研究指導を行う。

※一部変更する可能性があります。

